

# 勝苑会会報

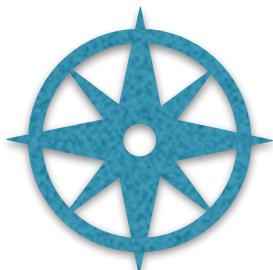
Katsuta  
OB-Times

茨城県立勝田高等学校同窓会【勝苑会】会報 通算12号

令和5年7月発行

## 母校創立51周年

### 新たな一步を



# 特報！



## 新会長就任のご挨拶

勝田高校同窓会会长

阿久津 隆男（7回生）

このたび同窓会会长を務めさせていただくこととなりました。

会員の皆様におかれましては、日頃より同窓会活動に対しご理解、ご支援を賜り、感謝申し上げます。

あわせて日頃より母校発展のためにご協力いただき、重ねてお礼申し上げます。

さて、ここ十数年来、我が同窓会は他校の同窓会と比べてもひときわ活発な活動を展開し、会員間の親交を深めてまいりました。これも一重に黒澤前会長をはじめとする諸先輩方、役員の皆様の努力と豊かな経験の賜物であります。その尽力に心から敬意と感謝の念を表します。

周知のとおり我が母校は「勝田中等教育学校」として新たな歩みを始めました。それに合わせて我が同窓会も「勝苑会」と名称を改め、新たな歴史を作り上げていくこととなります。

そのためには皆様の力も引き続き必要となります。これからも母校とともにこの時代の変化を体験していくきましょう。

新会長としての私の任期は始まったばかりですが、私たち同窓生一丸となって、これからも会員のため、そして何より母校のために力を合わせていきたいと考えております。皆様の変わらぬご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。の一つ一つをこ

こに書くにはあまりにも紙面が足りません。（コンプライアンス上、今では書けないことも。）

創立50周年を迎えた今年、同窓生の皆さんとこのように盛大にお祝いできるのはとても幸せなことだと思います。そして同時に本校は「勝田中等教育学校」として新たな歴史を刻み始めました。今後も引き続き、同窓生として本校の発展に少しでも協力できれば光栄です。

\*会長のお顔全景は本号のどこかに掲載されていますのでご参照ください。

## 新副会長就任のご挨拶

ひたちなか市内で自営業をしております、26回生の二川智之と申します。



同窓会副会長の推薦を頂いたときは驚きましたが、自分が開業したのと同時にお話を頂いたのはなにかのご縁だと思い引き受けさせていただきました。

母校では勝田高校から勝田中等教育学校に変わり早2年、新たな歩みを始めました。大変優秀な学生さんたちが入学してきていると聞き及んでおります。

優秀な後輩たちに負けないよう、同窓会も新たな歩みを踏み出せるよう取り組む所存です。

学校や経済だけでなく、社会全体が大きく・早く変化する時代となりました。

私たちが学生のときは、中学校と高校が一体化するなど考えもしなかったことです。誰もが情報端末を持ち歩き、テレビ電話・ラジオや手紙のやり取りだけでなく買い物の決済・遠隔地の会議などができると小学生の私に聞かせたとしてもド〇えもんの話としか思わないでしょう。そのような時代であればこそ、「同窓会」という組織においても前例にとらわれない、自由な発想に基づいた運営が求められてくると思います。

思えば、私が本格的に同窓会の活動に参加したのはひたちなかウダーベ祭が最初でした。勝田高校同

窓会には自由に活動する土壤がすでにできています。

先輩方が作ったこの土壤を活かし、地域に根付いた活動を、地域から飛び出す活動を目指していけたらよいなと思っています。

ずいぶんと大風呂敷を敷いてしまいましたが、夢を語ることはいいことだと考えています。そして、自由に夢を語れる組織だと思っています。

今後も自由闊達な活動を、そして後輩たちにやい組織を引き継いでゆけるよう頑張ってまいります。引き続きご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願ひします。

## 新副会長就任のご挨拶

このたび副会長職を拝命いたしました今年卒業35周年を迎えます13回生の国井謙一です。皆さん



のお力添えを頂きながら、同窓会の維持・発展に役目を果たせばと思っています。よろしくお願いします。また、昨年発足いたしましたゴルフ部を通して同窓会を盛り上げていければと思っています。それには同窓

生の皆さんに参加頂く事が不可欠です。是非ともご参加ください。コンペ開催がメインの活動とます。ゴルフ部もよろしくお願いします。

## 副会長継続のご挨拶

勝田高校同窓会のみなさま、9回生の大谷浩一郎です。10年ほど副会長として関わらさせていただいております。また、東京支部では支部長として同窓会の活動を盛り上げています。同窓会への関わりは、私にとって特別な意味を持ち、長い時間を共有してきたことに誇りを感じています。

現役時代は自分を鍛えようとラグビー部に在籍していました。毎日毎日、ボロ雑巾のようになりますながら授業そっちのけで練習に明け暮れる日々。炎天下ひたすらランパスを繰り返し、真冬は霜が降りたあとの泥濘んだ足下で泥にまみれながらス

クラムを組みました。そんな同じ体験を経験した者たちの絆は強く、毎年元日に勝校のグランドに集まり初蹴りを行なっています。

現在は東京都墨田区を拠点に建築家として活動しています。建築の世界では、美と機能の融合を追求し、人が人らしく生きる豊かな場を創ることを使命とし日々活動をしています。また、合氣道を通して人とのつながりを大切にすることを学び、煎茶道にも親しみを持ち、茶の湯の世界で心の安らぎを見つけています。

同窓会の皆さんと再会し、お互いの人生や思い出を分かち合いながら、素晴らしい時間を過ごせることを楽しみにしています。

勝田高校同窓会 副会長 大谷浩一郎



黒澤敦元会長（5回生）は退任され、今後は顧問として我々同志を見守ってくれることでしょう。黒澤さん、十年間の会長職、

**お疲れ様でした！**



## 教員人生を賭けたミッション

茨城県立勝田高等学校 校長 下山田 芳子



昨年は、勝田高等学校の創立50周年記念事業で大変お世話になりました。勝田高校の歴史における大きな節目となる記念事業をおかげさまでつがなく終えることができてほっとしております。一方で、4月の入学式で勝田高校最後の入学生を目の前にし、「彼らが卒業する令和8年3月に、勝田高校は勝田中等教育学校に生まれ変わるものだ。」と思うと、自分がまさに歴史の転換期に校長を務めていることを実感せざるを得ませんでした。

振り返ると、勝田中等の開校準備から携わってきた勝田高校への勤務は今年で5年目になります。通常高校校長の任期は長くても4年ですので、もう転勤の潮時なのですが、本校を含む茨城県の中高一貫校が公募型民間校長の配属対象になると聞き、今回大きな決断をすることとなりました。

一昨年から茨城県で始まった教員免許不問の民間人公募は、教育には素人だが経営や研究に詳しい民間人が校長になることで、これまでにない斬新な手法での学校経営を可能にするものです。しかし、民間校長の配属対象となる13の中高一貫校のうち、本校以外はすでに卒業生を出し指導体制も整っているのに対し、勝田中等はまさにゼロ

からの立ち上げ。現在、前期課程（1～3年次）の生徒しかおらず、高校課程である後期課程（4～6年次）にいたってはまだ概要しか決まっていない、という状況です。そうでなくとも県立中高一貫校の校長は、中学と高校という教育文化が異なる二つの学校種の教員を一つにまとめあげること、県立でありながら行政単位の違う市町村の教育委員会と密接な関係を築くこと、など通常の学校にはない難題に頭を悩ませます。それに加えて本校は、勝田高校の閉校（継承）に向けて人員が減らされる中、新校である勝田中等の施設設備・教育内容・指導体制の完成を同時に成し遂げる、という難事業を抱えているのです。

このようなことを知りながら、いかに才気あふれるとは言っても教職経験のない民間人の方にこの難事業を丸投げするのは、あまりに無責任、無謀ではないかと思うに至り、僭越ながらこのたびの校長公募に手をあげました。その結果、1645人の応募者から採用された3人に入り、無事本校校長を継続することになりました。とはいっても、開校までの茨の4年間で知力・体力を消耗してきた自分が、更にあと4年間の試練に耐えうるのか、といまだ自問自答を重ねる日々です。

しかし、水戸や日立地区の中高一貫校ともしのぎを削らなければならない激戦区にある本校に失敗は許されません。あとは前進あるのみ。我が教員人生の集大成として新校に心血を注ぎ、勝田高校の歴史と伝統を継承させて、一期生とともに卒業していく所存です。あと4年間、どうぞ引き続きご支援・ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

## 母校を卒業し事務長になりました

茨城県立勝田高等学校

事務長 椎名 実（10回生）

現在、私は勝田高校に事務長という立場で勤務しています。生徒のときに10周年、勝田高校として最後となる50周年に職員として参加できたのは何かの縁なのではないかと思います。

その関係で、今回同窓会会報に原稿を書いてほしいと声をかけられ特に考えもせぬ了承してまつたことを後悔しています。なぜなら、生徒として勝田高校では部活動はしていないし、進学するために勉強をがんばったという記憶もなく何を書けばいいのだろうと悩んだからです。高校時代の記憶といえば1年生の途中から自転車で通学した

ことくらいしかないのでこのことを書くことにします。

当時、私は水戸市見川に住んでいました。最初は、バスー電車ーバスと乗り継いで1時間近くかけて通学していましたが、だんだん周りの友達が自転車で通うようになり私も自転車で通学することにしました。ただ、根性がないので雨の日はバスと電車で通学していました。

自転車通学の利点は、乗り継ぎの時間を気にしなくていいこと、通学時間が約50分に短縮され朝10分くらいですが長く寝ていられることでした(笑)。欠点は、当然ながら坂道を登らなくてはな

らないことです。帰りには、水府橋を渡り税務署や県立図書館に向かう坂道を登っていました。当然、最初のころは登り切ることができず、途中で降りて自転車を押していましたが、いつか降りずに登り切ってやると思っていました。そして、登り切った時には嬉しかったことを覚えています。

みなさんご存知のとおり、勝田高校は、勝田中等教育学校への改編時期となっています。様々な問題があり解決しなければならないことが膨大ですが、事務長として母校が少しでもより良い学校になるように尽力できればと思っています。



母校作成の「創立五十周年記念誌「足崎」（左）」をご希望の方、2000円（送料別）で販売しています。右のQRコードから同窓会ホームページにアクセスいただき、「50周年記念誌希望」と同窓会事務局にお知らせください。追ってお渡し方法等ご相談させていただきます。（会報11号「50周年記念号」も若干ございます）



# 嗚呼還暦の七回生！

今年還暦を迎える7回生の元気な現在をお届けします！

テニススクールのコーチをしています！

永井 勲



上段右から2番目

高校生の時は「軟式テニス部」に所属していました。当時はまだ練習中に水分補給禁止や、うさぎ跳びといった昭和の風習が残っている時代でした。1年生の時にコートが新設されたため、昼休みは1年生だけで毎日ローラー掛けをしていた辛い思い出が蘇ります・・・顧問の山崎先生の熱血指導のおかげで、高校時代の最高成績は団体戦で県準優勝でした。

社会人になってから本格的に硬式テニスを始め、各種大会に参加するようになり、2019年に鹿児島県で行われた「全日本都市対抗テニス大会」では、つくば市代表として参加させていただきました（写真。3位入賞）。

現在は、週末にひたちなか市内で小学生を対象としたテニス教室（ひたちなかキッズテニス）を開催していて、子供たちと一緒に汗を流しています（勿論、水分補給はしっかりと採ります）。

高校時代～現在に至るまで深くテニスに係ることが出来たのは、楽しかった高校の部活動があったからだと思います。当時の仲間たちに感謝。

ひたちなかキッズテニスにご興味がある方は  
こちらに連絡ください！  
090-1251-8141  
担当：高場恵子  
日本スポーツ協会公認  
スポーツ指導者テニスコーチ

趣味に夢中です！

関 敦子



50の手習。まさに50代から始めたレザークラフトとフラダンスで充実した日々を送っています。同じ趣味を持つ気の合う仲間達に囲まれて、気持ちはまだまだ20代（笑）

糺余曲折を経て、想いを綴ります

小池 光浩

自分に限界を作らず、自分の仕事は自ら作り出す。生きている限り、大丈夫をモットーにしています。高校卒業後、大学受験に失敗。浪人中。予備校通いながら、同時に就活も進めていました。公務員試験になんとか合格。春まで時間あると、アルバイトしていました。ファミレス ココス 笹野店。飲食業の大変さ。人付き合いの難しさを感じました。春からは一年間の学校生活後、県内の所属に分かれて、同期生と離れて勤務。県民の皆様の治安維持・生命財産を守る仕事。聞こえは良いですが、苦情処理や



ら、盗難事件の後始末。下っ端は、何でもこなさなければならぬ。後から来た方々がご榮転やら昇任しての異動。少し腐っていたら、ある先輩から言われた言葉。今でも教訓にしています。

『 小池よ。何、そんなにふて腐れてんだ！ おめえ。勘違いしてつどお。仕事の評価は自分で決めるもんじゃねえ！ 他人や上司が決めるもんだあ～！』

考え直し。行動を改めて、先輩や上司の声を聞くようにしました。積極的に、人前で話す事ができるようになつたのも、この言葉があるかもしれません。

30歳前になって、長男である僕は、そろそろ、実家(ひたちなか市)に戻つて、親の心配をするようになりました。転職活動ですが、一番大事にした事は、他人の勧める環境である事。勧める仕事である事。でした。その後、両親の知人から勧められた職場が日本原電 総務課でした。特業である警備でした。前職で交替勤務。夜勤も経験していたので、仕事は苦にはなりませんでした。原子力事業については、皆様のご意見があると思いますので、触れませんが…入社当時の平成5年頃は、資源が少ない日本で、エネルギー政策の一環として進められていました。会社の人も、現場も活気があり、福利厚生も充実していました。去年で30年勤務。おかげ様で、その間、結

婚もでき、一人息子も就職し、家のローンも終わりました。ボランティア活動として、那珂湊焼きそば大学院として、街づくりのイベントに参加。たくさんの素敵な方々と知り合う事ができ、見聞も広がりました。コロナ禍において、何もできない葛藤。夜勤で疲れきった身体。何かモヤモヤしていました。このまま定年を迎えるのみかと…

そんな時、去年の1月に佐藤久彰 高校同窓会の有名な方から、お声がかかり、ゴルフ場の支配人を探していると…何かしら。やる気が起つたような気がしました。閉塞感が溢れる毎日の中、こんな自分でも、必要とされるのかと。他人に勧められるという事は、その人に、小池という人間を認められた事なんだろうと。面接の時某カントリーのオーナー兼 某ひたちなか市内企業のオーナーである社長さん。開口一番。あらかじめ会話していた従業員に聞いて確認。即決でした。今思えば、思うほど、時間を戻したいのですが…💦汗

ゴルフ場経営は難しい業界。まず経費がかさんで儲からない。募集しても人が来ない。賃金安い。茨城県のゴルフ場。有名なゴルフ場たくさんありますが、それは、資本金しっかりした大企業様のゴルフ場。某カントリーさんは、個人のワンマン経営。ケチなオーナー。目先の金を追つて、コスト削減。利益追求の模範的社長さん。大手の企業で習つたこと。教えていただいた、安全第一。どこに行つたのやら…💦汗

金。金。費用対効果の話題。経費もケチるので、給湯やら備品やら壊れるばかり。相見積もり。安いところ、とりあえず探せ。安いところに、仕事やらせろ。信用も信頼もあったもんじゃありません。それでも、小池は考えました。他人に勧められた仕事。頑張りましょう！

現場に赴き、総務・運営・管理の3本柱をしっかりすれば、良いゴルフ場になる。従業員と会話。現場に赴き、状況確認。改善あれば提案。職場風土の改善を図り、前年度よりも、来客人数も、売上高もアップしました。それでもオーナー社長さんは、目先の金を追つて、レストラン直営でやりたい。俺が知っている板前にやらせる。食品安全管理を無視して言いたい放題。同時に、営繕箇所が数ヶ所。運営現場での経営陣とのいざこざ。重なり、体調管理も悪くなる一方、副社長さん(オーナー長男)から、ボーナスカットの話題。えー😱。来客人数も増えて、売上高も上がつているのに…

何かモヤモヤしていましたのが一気にきました。下血が止まらず、大腸カメラ検査。ポリープ一個ありました。自分自身のモチベーションは、ダダ下がり。せっかく人に勧められた仕事でも、環境が良くない。このまま我慢して勤める仕事ではないのかな！？

日々、思いながら過ごしていました。そんな時、中学同期生と会合があり、仕事の話題。求職しているとの事。前から知っている。社長や経営陣も含めて、人間関係の良い職場。履歴書を提出したら、ウチで良ければ、来てください。転職するたびに、金は下がるとか、条件が悪くなるとか、言う方々もいらっしゃると思います。確かに、今の給料は、以前に比べたらだいぶ安いんです。でも、仕方ないんです。バリバリ働いていたあの頃の自分と違うんです。身体も頭も、以前より少しづつ、出来なくなっています。それは定年60才を過ぎたからだと思います。個人差があって、バリバリ働いて仕事出来る方もいらっしゃいます。でも、何かしら、若い頃の自分との違いに気づいていると思います。それは人間だから。年齢的にそうなると思います。年金制度も騒がれている現状。働けるうちは働いた方が良いと思います。その中で、仕事やボランティア活動を通じて、たくさんの人と触れ合い、自分自身のモチベーションを高め、自分自身の心を豊かにしたいと思っています。定年を迎えるお年頃。自分の人生。好きな方向を歩んで行きましょう。困った時、間違った時、悩んだ時、優しく教えてくれる皆様がいらっしゃいます。高校同窓会の皆様もその中の一人。皆様の個性や表情を大事にして、これから的人生を楽しく進めて行きましょう。高校時代引っ込み事案で、恥ずかしがり屋で、コミュニケーションが苦手だった自分自身。今の姿を想像できないと思います。

転職。人生の岐路。勧めるのは他人。決めるのは自分自身。

## 仕事以外でもプロフェッショナル！

阿久津 隆男

現在、原田美由香さん（17回生）は水戸のコミュニティFM「FMぱるるん」で、パーソナリティを務めています。

自分は2016年「リップトンティーコーディネーター」という資格を取ったことをきっかけに、2021年12月より原田さんの「メリフィリ」（毎週金曜日15時～）という番組の中で月1回、紅茶の美

味しい飲み方を解説するコーナーを担当しています。



## 日本のJAZZ界の超新星

深川 隆成

1963年4月、茨城県水戸に生まれる。高校時代は生徒会長、応援団長など、同期の中でも常に「核」となっていた深川が、今、日本のJAZZ界でも「核」になろうとしている。その深川に今の想いを綴ってもらった。

かねてより、歌の力は無限大で、自分の一番の生き甲斐である歌で世界中の人々に貢献したいとの思いを漠然と持っていた。そんな中、当時勤務していた会社の貿易部門に転勤した2006年からJAZZの日本語訳に目覚めた。仕事で英語から日本語に変えて説明する時に言い回しを変えて日本人に伝えやすくする事がきっかけだった。そして、人類発祥の地アフリカから奴隸で連れられてきた黒人たちの作った音楽の一つJAZZの英語歌詞を日本語に訳してアルバムを作り、その収益を未だ貧困にあえずアフリカに食糧援助ではなく教育援助により豊かにしていければとの夢を持って、10年間はセミの幼虫と思い、訳詞に専念していこうと考えたのだ。

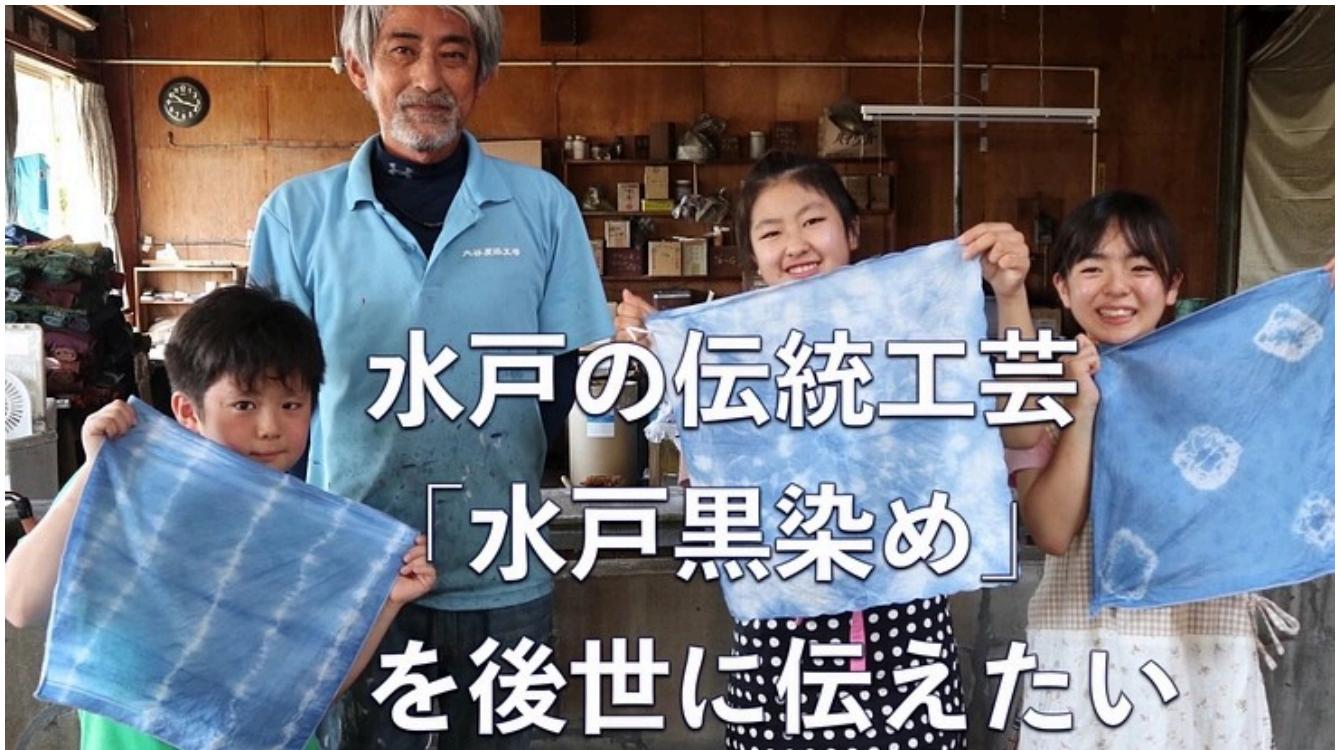
英語と日本語は言語的に大きく違い、英語は単語には母音が一つで音符一つに単語が全部乗せられる為、情報量がとても多く、一音一音に母音が乗る日本語に直訳すると字余りになってしまい、直訳歌詞は不可能とされてきた。これを短歌や俳句などの要領で短い感情表現や風景描写で置き換える事で全く同じ意味の意訳を実現。10年間で作り続けた日本語JAZZで、いつかは日本語歌唱禁止でも有名であった六本木サンドールで日本語でのJAZZライブを実現するのが目標となつた。

その夢が叶い、2016年4月ライブデビュー。その年の11月に六本木サテンドールで全曲日本語でのワンマンライブを実現。更に2018年3月に『桜の季節』でCDデビューを飾った。その『桜の季節』と2021年1月に発売したフルアルバム『時の流れ』の収益全てを、訳詞を始めた目標でもあった人類発祥の地アフリカから奴隸を出した港があった奴隸海岸に位置するGDP対比日本の20分の1ほどの貧困な国ペナン共和国への支援活動に寄付を実現。現在までに食堂建設、校舎改築、机や教材の購入、奨学金で30名弱の貧困家庭からの進学などに寄与している。また、昨年のロシア侵攻によるウクライナ支援の為のアルバム『ひまわり』も制作してこちらも全額援助活動にあてている。

自分の歌詞と歌唱力はJAZZ評論家の間で高い評価を得てきている。更に、作詞作曲のオリジナル曲も意欲的に発表してカラオケにも多数採用されてきている。6月21日発売のSTAND BY MEの日本発の公式日本語歌詞許諾曲『STAND BY ME そばにいて』やチャーリー・パーカーの未発表曲に歌詞を乗せて発表する7月7日発売の『それでも朝は来る』まで含めてアルバムは8枚。いずれもRyuseiFukagawaの自主レーベルでCD全国販売、データ世界配信を行っている。深川独自の日本語意訳やオリジナルの歌を聴く皆さん魂をゆさぶることだろう。2022年には世界最高峰の音響を誇るサントリーホールでの単独リサイタルも成功させて、今年も9月17日(日)にサントリーホール公演を予定している。

7月22日(土)18時半～銀座シグナス  
8月25日(金)19時40分～東京俱楽部目黒店  
8月26日(土)15時～小淵沢生涯学習センターホール  
(山梨県北杜市)  
8月26日(土)19時～グリーンプラザ (山梨県北杜市)  
9月9日(土)18時～天空のライブハウスピラタス2  
(長野県茅野市蓼科)  
9月10日(日)15時～牛久エスカードホール※2019年全米No. 1 ドラマー田井中福司さんとの共演  
9月17日(日)13時半～サントリーホール・ブルーローズ (東京都赤坂)





## 伝統の技を後世に

大川 哲

急な掲載だったため、大川氏本人との確認が取れていませんことをご了承ください。

江戸城内で諸侯の羨望でもあった【水戸黒】を再現し、頑張っていらっしゃるのが7回生の大川哲氏。金屏風に映える青みがかった黒なのですが、水戸に永く住いながら「水戸黒」そのものすら良く知ることなく、知つてみると我ら水戸にその歴史の片鱗が残り、水戸黒の魅力、そして今もなお水戸黒を守る染め物屋さん、そして研究家もいるとのこと。

そこで、ぜひその歴史の一端、水戸黒の製法、水戸黒の未来への伝承を願い、有志を集め「小冊子」を作成し、水戸市内の全小学校に頒布し、小さな波を起こしていこうと運動をはじめました。この運動の中心にいたのが同窓会事務局長である佐藤久彰氏13回生であり、この運動を取り上げてメディアに紹介する記事を書かれていたのが6回生の某氏であったこと、誠に奇なる縁で結ばれた6回生、7回生、13回生、同窓会の賜物ではないでしょうか。

現在、この貴重な伝統を後世に残すべく、小冊子作成のクラウドファンディングが実施されていますので、もしご興味を持たれた方は、以下のクラファンページを覗いてみてください。

<https://readyfor.jp/projects/mitoguro2023>

遙かなる黒

## 水戸伝統黒染め 水戸黒



水戸黒小冊子製作実行委員会

佐藤マコト編

## 勝田高校の思い出

吉本 祐之 (26回生)

東京都小平市議会議員



私が人生で初めて飛行機のビジネスクラスに座ったのは、オーストラリア研修の国内移動の時でした。オーバーブッキングにより友人と二人、引率の先生よりも前に座り周囲をざわつかせたのは今でも鮮明に覚えています(笑)。同窓会報へ寄稿させていただくなあたり、高校時代の思い出を振り返ることが出来て感謝しています。研修の事もそうですが、沢山の思い出が蘇りました。

授業中や放課後のことなど挙げればきりがありませんが、今でも付き合いのある友人たちとの出会いが一番の宝物です。社会人になり住んでいる場所もそれぞれ離れたりしていますが、今でも毎年1回は故郷で集まっています。その時々により話すことは変っても、友人たちとの関係性はずっと変わらず昔のままです。損得抜きで付き合える友達と出会えるのは、中学生よりも大人になり成人を迎える中で、3年間を共に過ごす高校生活ならではではないかと思います。

私は今、東京都の小平市という街で「市議会議員」として仕事をしています。同期や先輩に、ひたちなか市の議員がいたり、都内にも議員をしている先輩がいたりと、勝田高校出身の政治家は実は結構多いのです(何故かは分かりませんが)。

私が政治家を志したのは28歳のときですので、高校時代から政治に関心があった分けではありません。むしろ全く興味ありませんでした。今でも付き合いのある友人と、生徒会の役員選挙の時に「野党」を作ったら面白いのではないかと盛り上がったことはありました。実際に行行動に移すこともなく冗談で終わった話がある位です。

ただ、高校時代に色々な経験をしたことが「きっかけ」にはなっていると思います。当時は漠然としていましたが、学校生活では知ることの出来ない「外の世界」に興味がありました。私の場合は「外の政界」と繋がるツールに「ボランティア」を選択し、地域のアマチュア劇団の手伝いをしていました。そこで舞台に立つ経験もさせてもらいました。演劇に興味があるわけではなく、地域活動を通して「まちおこし」をすることに興味があったのだと思います。その経験から大学でも地域振興を学びたいと思うようになり、コミュニティ振興学部(現在の総合政策学部)のある常磐大学に進路を決めました。

大学生になり時間的制約が無くなり、より経験を積むため色々なボランティア活動に参加する中で「国際支援」に興味を持ち、ミャンマー、ラオスなどアジア地域での活動も経験しました。20代のボランティア活動や市民活動が最終的に政治家を志すきっかけになる分ですが、発端は「若いときに色々な世界に触れたこと」だと思っています。在校生には、高校生だからこそできる経験を一つでも多くして欲しいと思っています。そのための応援が出来る同窓会であって欲しいと願っていますし、私自身も微力ながら協力して参りたいと思います。

## 勝田高校を卒業して

白田 涼夏 (令和2年度卒)

ひたちなか市役所



私は、勝田高校を卒業した後、ひたちなか市に就職し、現在は生活安全課で交通安全担当として日々業務に取り組んでいます。

高校時代には、2年生の冬から新型コロナウイルスが流行し、行事が中止となることや、登校日が減少すること、活動が制限されることが多くありました。友人や先生方に恵まれ、行事や部活動等を通してさまざまな経験ができました。

部活動ではオーケストラ部に所属し、最初は出来ないことが多く苦戦することもありましたが、友人と助け合いながら練習を重ね、演奏会に出演する等、貴重な経験ができ、学校生活の中でも特に印象に残っています。

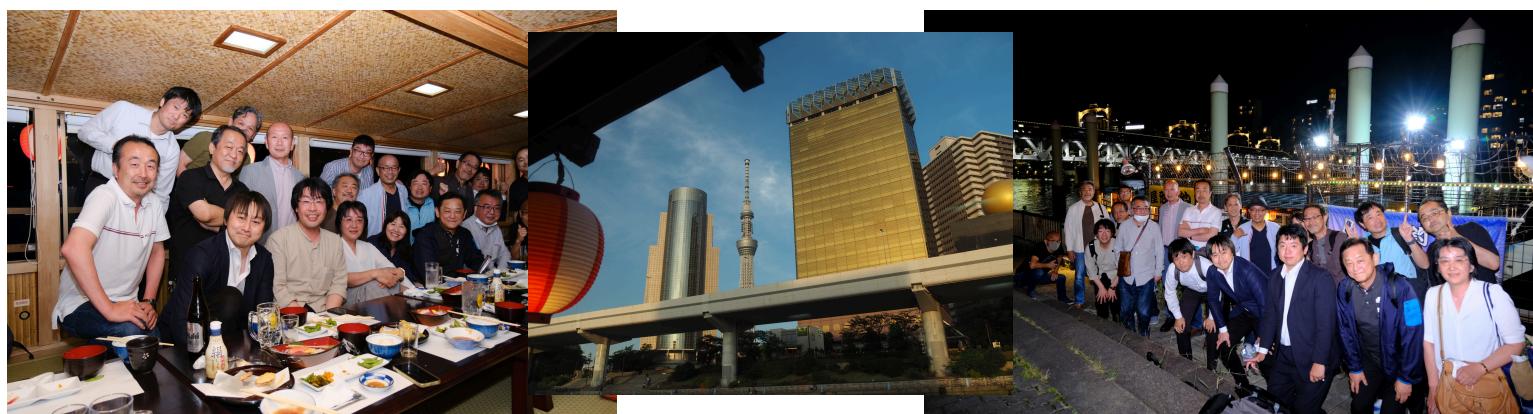
現在は、生活安全課で交通安全担当として、交通安全街頭キャンペーンの開催、高齢者の運転免許証返納支援事業の受付、地域からの安全施設要望に対する対策等を行っています。初めは、窓口対応、電話応対等、担当する業務に対しての不安もありましたが、先輩方に支えられ、徐々に出来ることが増えることにやりがいを感じながら仕事に取り組むことができています。市役所での業務内容は課によってさまざまであり、まだまだ分からぬことばかりですが、先輩方にご指導いただきながら日々精進していきたいと思います。



# 50周年記念同窓会



# 2023屋形船



2022年度、母校は創立50周年を迎え、記念祝典を開催しました。その中で、同窓会では記念品の目録をお贈りし、母校の内装工事の完了の際に母校の歴史を飾る棚の設置をお約束しました。

なお、母校の中等教育学校への昇華に伴い各学年定員の最適化（3クラス制）が実現しましたが、一方で同窓会の収入面ではまさに毎年の会費収入が今までの半分になります。

今後は皆様方のご寄付や協賛金も、  
よろしくお願ひいたします。

# 同窓会俱楽部活動

## 【タキビスト俱楽部】

代表 9回生 大谷 浩一郎

勝田高校同窓会で最も燃える同好会、「タキビスト俱楽部」のご紹介です！

タキビスト俱楽部では、日常から離れキャンプと焚火を通じて、飲んでは食べて食べては飲んで、燃え盛る炎の中で友情を深めています。

2020年に発足し「炎会」という名のもと活動をしてきました。先輩の秘密基地をお借りしティピーテントの中で焚火したり、ひたちなかの親水性中央公園でデイキャンプしたり、そのうちコロナとなり一時的に私たちの炎を消そうとしましたが、ZOOMを使ってNET炎会なるものを試したことあります。

20名ほどの部員の中にはいづれもプロはだしのバーテンダーがいます。シェフがいます。漸家さんもいます。個性溢れるメンバーたちによって、学生時代の思い出話や熱いトークが繰り広げられ、お互いを笑わせ合いながら、楽しい時間を過ごしています。

ここは勝田高校の同窓会生たちが絆を再発見する場所です。ユーモアと笑いにあふれた最高の同好会です。私たちと一緒に炎を囲み、心に灯をともしましょう！

心の底から笑顔になるのは間違いありません。

皆さんの参加を心からお待ちしています！



## 【団員募集！】

2回生 須藤 敦

私達の吹奏楽団である水戸ウインドジャズオーケストラは、勝田高校吹奏楽部OB3人が中心となって結成されました。高校時代にそれぞれ同じ思いを持って部活動に励んできた3人が約40年ぶりに再会を果たし、その思いを1つにする為の時間は多くはかかりませんでした。



3人の思いは「社会貢献」つい最近まで「金がねー！」と騒いでいたのにこの変身ぶり。いや、その様な思いをしてきたからこそ次の世代への受け渡しを意識出来たのかもしれません。

近年、まだ成人もしていない子供達が社会的に追い詰められ、食事もろくに取れず、イジメ、親の介護、社会への喪失感など、様々な障害に将来への目標を見失っていると聞きます。私達は、シンフォニックジャズという新しい音楽を通じて、限られた額では有りますが子供食堂への支援に当てる事が出来ればと考えております。

一緒に活動しましょう！

## 【ゴルフ俱楽部】

第3回 勝田高校同窓会ゴルフ俱楽部コンペ開催のお知らせ  
会場： 静ヒルズカントリークラブ  
日にち： 7月5日 水曜日

同窓会では各種クラブ活動を応援します。新しくクラブを設立したい場合は最寄りの同窓会役員にご相談ください。また既存のクラブ活動に興味がある方は担当者に直接連絡するか、同窓会事務局宛にお知らせいただければご紹介します。

# 役員会だより

## 【役員会概要】

2022年度はコロナ下ということもありましたが、50周年記念同窓会も企画され、その実施に向けて役員会の議論も活発に行われました。また、2023年に入りコロナの2類から5類への変更に伴い活動自粛の運気も小さくなり、少しづつ元の世界に戻りつつあるようです。



2022年度定例役員会 2023年5月27日 東京国際フォーラムにて

久々に東京に出向いての役員会もその流れに乗り、懇親会として5年ぶりに屋形船も企画されました。

2023年度の総会では過去にない大きな改革も提案されています。役員人事では十年間会長職として奮起された黒澤敦さん5回生の退任に伴い、新会長、および会長を補佐する副会長などに新しいお名前が出されました。また、規約の改正では三役以外の常任幹事の扱いや、旅費の改訂についても活発に議論され、総会での提案事項にまとめました。

母校創立50周年記念として、本学とも希望を調整して本学過去の表彰記録などを飾る棚の贈呈について議論され、母校の改裝が整った段階で実行するための繰越予算化されることになっております。



## 役員紹介

会長	阿久津 隆男 (7) ★
副会長	大谷 浩一郎 (9) ★
	国井 謙一 (13) ★
	二川 智之 (26) ★
会計	鹿志村 武史 (5) ★
	小池 光浩 (7)
事務局長	佐藤 久彰 (13)
総務	藤田 崇広 (29) ★
広報	佐藤 真人 (7)
	田中 優子 (23) ★

常任幹事	植野 健一 (10/市役所)
	平野 壱久 (11)
	萩谷 公康 (11)
	大貫 但尚 (11)
	人見 孝 (13)
	鬼澤 豊孝 (13)
	黒澤 務 (13)
	俵 はるみ (13)
	藤谷 美幸 (13)
	中里 隆幸 (13)
	石井 久美子 (13)
	平根 英一 (13/県警)
	亀井 則道 (13)
	太田 真理子 (13) ★
	堀川 智也 (18)
	谷村 勉 (20/県警)
	畠山 元気 (22)
	大内 聖仁 (24)
	鈴木 道生 (26) ★
	大内 裕輔 (27/高校)
	高野 龍 (31/市役所)

監査	所 義弘 (7)
	永井 清一 (8) ★
顧問	永井 資郎 (1/初代会長)
	柳田 尚久 (1/元会長)
	大貫 裕治 (1/元監査)
	野木 滋 (2/元副会長)
	黒澤 敦 (5/前会長) ★

★：新任、再任、役職異動



7回生と13回生の偶発的飲み会？！ 2023年6月17日  
勝田元町の居酒屋 人見屋（13回生 人見孝さん経営）にて

## ★同窓会に参加しよう！

- 1) イベントや事業のお誘いは、下のQRコードからメールアドレスやお名前などの登録をお願いします。
- 2) 役員会に参加しよう。役員会では、事業の計画・予算の執行・委員会を設置し、顔の見える形で運営されています。また、zoom会議も逐次取り入れています。現在、同窓会では、若い方々のご意見を渴望しております。是非とも、お力を貸して下さい。案内は、メール、勝田高等学校FB支部、公式ホームページにてお知らせしていますので是非ともアドレス登録下さい！



●編集後記：今号で発行より12号を数えることになりました。干支で言うところの「戻り」ということで今後も引き続きご協力のほどよろしくお願いします。今号は特集記事として今年度還暦を迎える7回生にスコープし、色々な方にお出ましいただきましたが、皆さん還暦という年齢の割には非常にご活躍の同期（筆者）としても心強いです。そのなかでボツ企画もございましたことご報告させてください。実は同期（7回生）のなかで、今年、国の某研究機関の副所長に就任された方がいまして、同期としても誇らしいことですし、現役の後輩たちにも将来の励みになるのではと思い取材を試みました。が、本人は大変乗り気だったのですが、公の機関ということもありお名前を出すことについて秘書課などを通してご検討いただいた結果、公的機関の名称が出ることについては非常にハードルが高いということを思い知らされました。もう少し時間があり、ハードルを超えてまで取材を敢行する覚悟があればチャレンジしたのですが、時間と乗り越えなければならないハードルの高さをトレードオフできず中途で取材を断念しました。とても残念でしたが改めてその同期のご活躍を陰ながら応援させていただきました。加えて広く同窓生の活動ということでお話を伺っていると、「同窓生というシガラミが自分の社会活動の妨げになる」という方も実際いらっしゃいます。「同じ釜の飯を喰った仲」でも、そういったことを飲み込んだ上で大人のお付き合いができると良いな、と今同実感しました。

同窓会事務局広報担当 佐藤真人

勝田高等学校 同窓会



## 校歌

田口五郎：作詞

臼井英男：作曲

筑波の峯の空青く  
白雲あわく よぎるとき  
ああたらさきの 学舎に  
伸びゆくいのち  
われら ひらかん

旭日高き 東海に  
熱砂をかたく ふみしめて  
おお建学の 意気高く  
限りあるみの  
ちから ためさん

那珂の流れに 波さわぎ  
暗雲ふかく とざす日も  
いざともがらよ 手をとりて  
明日の郷土を  
ともに になわん

茨城県立勝田高等学校同窓会

【勝苑会 会報】

<http://katsuta-ob.org>

info@katsuta-ob.org

令和5年7月吉日発行

発行責任者 阿久津隆男(7回生)

## ■編集／構成／デザイン

佐藤 真人（7回生）

佐藤 久彰（13回生）

鈴木 道生（26回生）